



理
念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

小児のアレルギーについて

小児科 医長 石丸 雄一郎

アレルギーとは

私たちの体には、自分の体の成分と違うもの、例えば細菌、ウイルス、食物、ダニ、花粉などが体の中に入ってくると、これを異物として認識して攻撃し排除する仕組みがあります。これを「免疫」といいます。アレルギー反応も広くは免疫反応の一部ですが、異物に対する反応の際に自分の体を傷つけてしまう場合をアレルギー反応と呼びます。代表的な疾患としては食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、アナフィラキシーなどがあります。アレルギー疾患の治療の基本は、

- ① 原因となるアレルゲン(アレルギー反応を起こす原因となる物質)を回避すること
- ② 症状改善のための薬物療法
- ③ アレルギー性炎症反応の抑制のための長期的な薬物療法
- ④ 病気を理解し、継続することの重要性とその治療を維持することが大切であるという患者さんの理解です。



スキンケアと食物アレルギーの関係

小児のアレルギーといえば食物アレルギーとアトピー性皮膚炎(Atopic dermatitis:AD)が挙げられます。両者の因果関係についてはこれまで十分には解明されていませんでしたが、近年ADの先行が食物アレルギーのリスクになることが多くの臨床研究で証明されています。2016年の調査ではADが先行すると4.73~12.76倍にリスクが増すと報告されています。また最近では皮膚バリアが破壊された皮膚を通じて食物アレルゲンの感作(アレルゲンが体内に入り異物とみなされ排除しようとする免疫機能が働き、抗体が作られること)が起こることがわかってきました。そのためADに関わらず皮膚感作を防ぐために乳児期から湿疹のコントロールをしっかり行うことが推奨されています。治療に関しては薬物療法(ステロイド外用)、スキンケア、悪化要因の対策、が主となります。ADに限らずしっかりとスキンケアを行うことで皮膚感作を抑え、食物アレルギーの発症を抑制することができます。

しっかりとスキンケアを行い皮膚感作を防ぐことも重要となってくるので、医師の指導の元で治療を行っていきましょう。

レスパイト入院のご案内

<https://hospital.tottori.tottori.jp/2391.html>



レスパイト入院とは？

在宅療養で介護をされているご家族など介護者を支援するための入院の仕組みです。

介護者の病気、出張、旅行、冠婚葬祭などの事情により一時的に介護が難しい場合や、介護者の身体的・精神的な疲労により一時的に休息をとる場合の短期間の医療保険による入院の受け入れです。

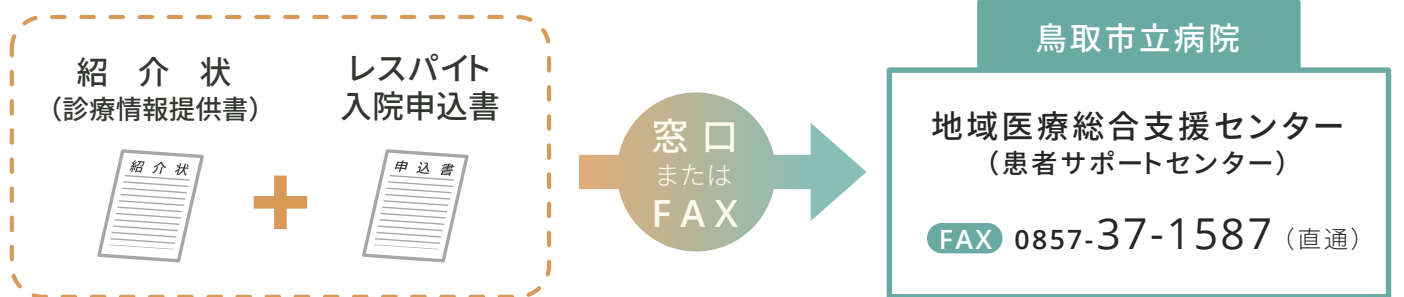
レスパイト (英語:respite)

一時休止、休息、息抜きなどを意味する英語。

ご利用いただける方

- 気管切開や喀痰吸引、点滴や胃瘻・経鼻での栄養、褥瘡処置、在宅酸素等の医療管理が必要で、介護保険によるショートステイの利用が困難な医療的管理をされている方
- 在宅療養中であり、自力歩行や一人では排泄ができなく常時介護が必要な方
- 病状が安定している方
- 介護者の事情(病気、ケガ、出張、旅行、冠婚葬祭、休息など)により介護が困難になる方

お申し込み方法



- ※ 紹介状は当院がかかりつけであれば不要です。
- ※ レスパイト入院申込書は当院ホームページからダウンロードできます。

※ お返事に数日要するため、前もってご予約ください。

お問い合わせ

鳥取市立病院 地域医療総合支援センター 患者サポートセンター

電話 0857-37-1522(代表)

FAX 0857-37-1587(直通)

受付時間 平日 8:30~17:00

日本褥瘡・オストミ-・失禁管理学会より 学術論文症例研究賞を受賞しました

当院の皮膚排泄ケア認定看護師 漆原聖子の執筆した論文「ストーマ周囲に局限した水疱性類天疱瘡患者のストーマケア」が、名誉ある学術論文症例研究賞を受賞しました。

この論文は対象者のQOL(生活の質)向上への貢献、そして医療専門職のケア実践の質向上につながる学術論文であるという高い評価を受けました。

水疱性類天疱瘡は高齢者に発生しやすい自己免疫疾患であり、全身に水疱等形成することが特徴です。今回の症例では、ストーマ(人工肛門)周囲に限定して発生したため通常の皮膚障害と鑑定して見分けることが困難でした。先行文献も少ない中で医師と協働して関わった貴重な経験でしたので、論文として形に残す必要性を感じました。

初めての学会誌投稿であり、自分が受賞するとは思わなかったので恐れ多い気持ちです。今後も看護ケアの向上に貢献し、よりよい看護を患者さんに提供できるよう、知識・技術の習得に努力していきたいと思えます。



皮膚・排泄ケア認定看護師
漆原 聖子

— お 知 ら せ —

当院設置のATMについて



現在、当院には鳥取銀行のATM2台を設置しておりますが、
2021年9月18日(土)より1台のみとなります。



写真左(←)のATM

2021年9月18日以降は、鳥取銀行と鳥取信用金庫の共同ATMとなります。
上記2行以外のキャッシュカードをご利用の方は所定の手数料が必要となります。

写真右(→)のATM

撤去対象ATMです。

2021年9月17日(金)で営業を終了します。